

製品名: DHS ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09974**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	DHPS
別名	DHPS; DS; Deoxyhypusine synthase; DHS
遺伝子 ID	1725.0
SwissProt ID	P49366
免疫原	抗血清はヒト DHPS 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 51-100

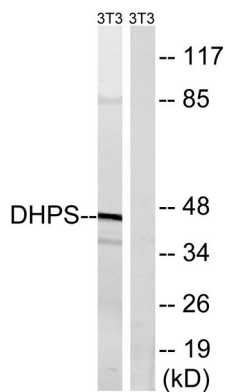
背景

この遺伝子は、ヒプシンの形成に必要なタンパク質をコードしています。ヒプシンは、真核生物翻訳開始因子 5A という唯一のタンパク質の翻訳後修飾によって形成される、特異なアミノ酸です。コードされているタンパク質は、スペルミジンのブチルアミン基を真

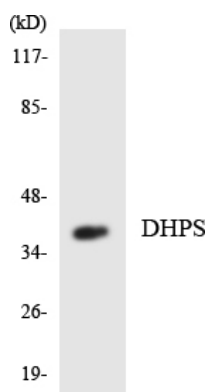
核生物翻訳開始因子 5A 前駆体の特定のリジン残基に転移させ、中間体であるデオキシヒプシン残基を形成することで、ヒプシン形成の第一段階を触媒します。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011 年 5 月],触媒活性: [eIF5A 前駆体]-リジン + スペルミジン = [eIF5A 前駆体]-デオキシハイプシン + プロパン-1,3-ジアミン。補因子: NAD。機能: NAD 依存性のスペルミジン酸化分解と、それに続くスペルミジンのブチルアミノ基の eIF-5A 前駆体タンパク質の特定のリジン残基の ε-アミノ基への転移を触媒し、中間体であるデオキシハイプシン残基を形成する。経路: タンパク質修飾; eIF5A ハイプシン化。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による)。類似性: デオキシハイプシン合成酵素ファミリーに属する。サブユニット: 二量体の二量体からなるホモ四量体。

研究分野

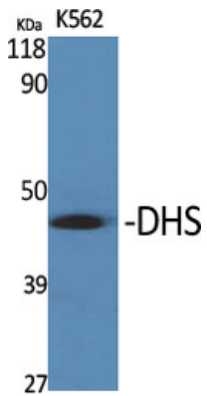
画像データ



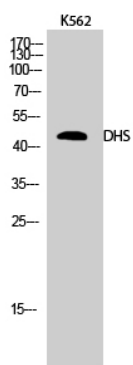
NIH/3T3 細胞ライセートの DHPS 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



DHPS 抗体を使用した HUVEC 細胞からの溶解物のウェスタンブロット分析。



DHS ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



DHS ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析